

## 村松志保子とは

現在にも誇るべき明治の自立した助産師  
産婆として開業

女学校・産婆学校設立  
慈善活動家

安政3年（1856）7月23日～

大正11（1922）年1月26日



安政3年（1856）、父 沼田藩御殿医 村松玄庵の長女として沼田藩の藩邸（港区）で誕生。

男兄弟三人は幼くして亡くなり、志保子は女医になる決意をし、沼田藩別邸（墨田区）で父に東洋医学を学び針術を修め、医術の研鑽を深めた。

明治9年（1876）妹・春子の産褥熱による死亡を機に、助産師（産婆）の重要性を痛感し、済生学舎にて西洋医学を修めた後、女医ではなく産婆となった。

明治14年（1881）安生堂医院を開設し、翌15年には別科に産婆学を有する女学校淑女館を設立し女徳の向上を目指し、明治19年（1886）独立した安生堂産婆学校を設立し、豊かな教養を身につけた産婆育成にも尽力した。

また、安生堂医院では、貧困者に無料施療入院実施し、母子のために保健福祉的な慈善活動を展開した。東京産婆会においても幹部として活躍する。大正11年（1922）66歳で亡くなる。

## お願い

村松志保子助産師顕彰会は、会費や寄付金などで運営しています。

より充実した活動を継続していくために、当会の趣旨や活動にご賛同して頂ける会員やご支援の寄付金を広く募っています。

また、現在ご活躍されている助産師や歴代のお産婆（助産師）さんなどの情報もご連絡をお待ちしております。（入会お問い合わせ先へ）

## 村松志保子助産師顕彰会

### 入会のご案内

#### 入会方法

本会の活動趣旨に賛同する方ならどなたでも入会できます。

入会申し込み用紙にご記入の上、入会費及び会費の納入をお願いいたします。

#### 入会費、年会費について

入会費 5,000円 会費 5,000円（年）

#### 会費等振込み先

口座名：村松志保子助産師顕彰会

口座番号：郵便貯金 総合通帳

記号10040 番号97136531

#### お問い合わせ先

入会申込用紙のご請求および入会のお申し込みは、郵送・FAX・メールでお申し込み下さい。

宛先：〒192-0914

東京都八王子市片倉町1181-5 岡本喜代子

電話：042-635-3668

FAX：042-635-7117

Eメール：otafuku-o@nifty.com

#### 高忍日賣神社（たかおしひめじんじゃ）

住所 愛媛県伊予郡松前町大字徳丸387

TEL&FAX 089 (984) 8212

JR「北伊予駅」から東へ徒歩15分

松山空港より車で南東へ約10分



イラスト WANPUG

## “母子と助産師の碑” のしおり



たかおしひめじんじゃ

母子と助産師の碑が建立されている高忍日賣神社  
（全国唯一、産婆・乳母の祖神を祀る神社です。）

## 村松志保子助産師顕彰会